

学校教育計画（令和6年度～令和9年度）

学校名	大磯高等学校	課程・学科 教育部門・学部	全日制・普通科
-----	--------	------------------	---------

1 学校のミッション

- 全日照の課程学年制普通科を設置する高校として、生徒の特性や地域・学校等の実情を踏まえ、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に応えるよう、学力の育成、豊かな人間性や社会性の涵養、社会的・職業的な自立等をめざした教育課程を適切に編成する。
- 他者との協働をとおして社会貢献につなげることができるリーダーの育成をめざし、自らが設定する目標の実現に向けて、主体的にキャリアデザインの構築を図ることのできる人材の育成に取り組む。
- 自ら課題を発見し解決する力を育み、主体的に学習に取り組む態度を養うことができるよう、主体的・対話的で深い学びの実現をめざした不断の授業改善の実施等、これから時代に求められる資質・能力の育成に向けた教育活動の充実に取り組む。

2 学校教育目標

- 社会人として必要な人間性を育み、個人の力を發揮しつつ他者と協働して社会貢献できる生徒、探究心を持って意欲的に学ぶ、継続して努力できる生徒を育成する。
- 生徒一人ひとりが、自らの目的・目標の達成のため、将来の生き方などについて主体的に考える力を養い、高い学力と意欲を持って進路実現が叶うよう支援する。
- 授業を通じて、主体的に学習に取り組む姿勢を持たせ、身に付けた知識や技能をもとに、学びを深めながら自己の考えを適切に発信する表現力を育成する。
- 特別活動・部活動を通じて、個人の力を發揮しつつ他者と協働して集団としての目標達成のために貢献できる力を身に付けさせる。
- 安全・安心な教育環境整備に努め、開かれた学校づくりを推進する。家庭や地域と連携し、幅広い教育活動を展開しつつ、生徒の心豊かな人間性、規範意識を高める。

3 計画策定時点での課題

- 生徒一人ひとりに高い目標を持たせ、進路実現をさせるために、学力の分析・検討の共有化と、情報機器の活用を更に推進する必要がある。
- 生徒が授業に主体的に取り組む姿勢を身に付けさせるため、単元の目標に応じた評価の観点と、主体的に学習に取り組む態度の評価方法について教科横断的に理解を深める必要がある。
- グローバル教育研究推進に係る指標に即する様々な取組や授業改善について、学校全体として協働して取り組む意識の醸成が十分ではない。
- 社会貢献できる生徒を育てるため、地域・自治体との合同防災訓練や海岸清掃など地域貢献活動を充実させるとともに、連携の強化を図る必要がある。
- 豊かな人間性を育むために、様々な悩みを持つ生徒の不安を減らし、特別活動や部活動に多くの生徒が積極的に取り組める環境づくりが必要である。
- 自転車通学者が多く、実際に事故が起きている現状を踏まえ、生徒の交通安全に対する意識を大いに高める必要がある。

4 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・粘り強く学習に取り組ませるとともに、学習内容を振り返って調整し、探究心を持って学びを深めようとする態度を培う。 ・主体的、対話的で深い学びを目指した授業改善を遂行し、生徒が自己の学びを適切に発信する表現力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習目標や評価の観点を明確に示すことで生徒が自ら学ぶ姿勢を引き出す授業を展開する。 ・様々な資料を活用して生徒の学びを分析し、指導方法の改善や関心意欲の向上に努める。 ・ICTを適切に活用するとともに、対話や発表の機会を多くし、表現力の向上を図る。
2	生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人ひとりに応じたきめ細やかな教育相談体制を充実し、安心して高い目標に挑戦できる学校づくりを進める。 ・生徒の心豊かな人間性、規範意識を高める。 ・特別活動等を通じて、他者と協働して集団のために貢献できる力を身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・SC、SSW及び外部専門機関等との連携を強化し、教育相談体制を充実させる。 ・安心安全な学校生活を過ごすために、規範意識や思いやりの心を育てる取組を積極的に行う。 ・生徒会活動、部・同好会活動の活性化のために適切な人的配置と予算編成に配慮し、効果的な運営を行う。
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人ひとりが、進路意識を深めることのできるキャリア教育の充実を図るとともに社会貢献意識を醸成する。 ・生徒個々の学力及び進路、受験に関するデータ分析を行い、それを学校全体で共有し、活用するための方策を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒だけでなく保護者、教員を含めた学校全体で高い目標、進路意識を掲げるよう取り組む。 ・模擬試験や進路希望調査を適切に実施し、それらのデータ分析を踏まえて、より高い目標へ向けて進路指導を行う。 ・夏期講習及びその他の講習等の工夫、改善を通じて学力の向上を推進するとともに個別指導を充実させる。
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な面で地域との連携を強化し、社会に開かれたカリキュラムマネジメントを推進する。 ・地域と連携して防災体制の整備に努めるとともに地域の環境美化にも積極的に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会やPTAとの連携を通じて、探究的な学習や発信力を高める教育活動を活性化する。 ・周辺施設や自治体等と連携し、防災意識を高める訓練を実施するとともに、海岸清掃活動などの奉仕活動も積極的に行う。
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・事故・不祥事の防止を徹底する。 ・ICTを活用して校務の一層の効率化を図るとともに、個人情報の保護などの取組を推進する。 ・WEBサイトや学校説明会等における情報発信を適切に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事故・不祥事防止に係る職員の意識向上を図るため研修会などを適宜行う。 ・学習用アプリの導入を推進するとともに、職員向け研修を充実させる。 ・WEBサイトの更新の頻度を多くし、最新の情報を適切に発信する。 ・学校説明会や部活動見学など、本校の魅力を適切に発信する機会を多く確保するよう努める。